

☆ 中国

繊維業況

中国の炭素繊維市場

中国紡織網による中国の炭素繊維業界の近況は以下の通り。

中国国内では、炭素繊維は、重要なハイテク新素材として関心が高まっている。特に、航空・宇宙分野や軍需工業分野では高品質の炭素繊維の開発が待たれている。しかし、国産炭素繊維は今のところ低品質が中心である。

ここ数年の炭素繊維の相場を見ると、低品質の炭素繊維の国内価格はかつての1トンの当たり14万元前後から12万元まで下落し、炭素繊維メーカーは赤字を避けるため、原糸（プリカーサ）を外部から購入して炭化以降の工程のみを行い、コストを下げることによって生産を維持する企業も出てきたという。

業界関係者によると、国産の低品質の炭素繊維の相場が下落している主な原因は、供給過剰が表面化したことにあるという。2000年ころから、吉林、山東、江蘇、山西、遼寧、北京、上海などの伝統的な炭素繊維生産基地に加え、河北、陝西などの新興の炭素繊維工程化研究開発基地が整備されてきたことで、低品質の炭素繊維製品の生産が拡大の一途を辿っている。これに加え、外国企業による安値での輸入が増加したことで、国内の炭素繊維メーカーは減産に追い込まれたという。その後、海外メーカーの値上げによって相場は一時回復したが、現在、新規炭素繊維メーカーの稼働が相次ぎ、再び供給圧力が増している。

現在の炭素繊維市場の過剰のきっかけは、2008年のリーマンショックの対応として、中国政府による4兆元のインフラ投資により建設業などに大きなビジネスチャンスが拡大したことにあるとの指摘もある。

一方、高品質の炭素繊維市場は、航空宇宙分野、特に航空機製造業では広範に応用されている。高品質炭素繊維複合材料の使用量は、小型ビジネス旅客機やヘリコプター製造で、従来に比べ70%～80%、軍用機で30%～40%、大型旅客機では15%～50%増加している。また、炭素繊維複合材料は武器装備品の重要な材料となっている。中国で生産されるヘリコプターで使用される炭素繊維複合材料の消費量も日々増加し、Z-9型ヘリコプターでは、その使用量は60%前後まで高まっている。

また、寧夏、福建などの一部では、炭素繊維製ケーブルの送電線が使われているが、これによりエネルギー消費が3%前後抑えられ、送電鉄塔が50%減少し、土地を節約することができたという効果もある。

油田採掘分野においても、2,000m以上も深く入っていける採油パイプは炭素繊維製だけであり、その潜在需要が大きい。

以上から、中国の炭素繊維市場をまとめると、低品質製品は供給過剰で、高級製品は供給が追いつかない状況にある。中国政府は炭素繊維企業に対して高品質製品開発のために巨額の援助を行ってきたが、結果として、低品質製品が過剰となり、高品質製品が品薄のままという矛盾した状況を生んでいる。

☆ベトナム

繊維業況

繊維輸出 7.1%増---2012年

ベトナム統計局によると、2012年のベトナムの繊維品輸出は前年比7.1%増の150.4億ドルとなった。過去、2010年、11年と2年連続で2割を超える大幅増からは鈍化した。

一方、2012年の主な繊維品輸入額は、綿花は前年の綿花価格高騰の反動もあり前年比16.9%減の8.8億ドル、糸類は9.0%減の14.0億ドル、織物類は4.7%増の70.5億ドルであった。なお、綿花の数量ベースでの輸入は27.3%増の41.6万トンの大幅増であった。

ベトナムの繊維品貿易

(100万ドル、%)

	2012年	前年比
繊維品輸出	15,035	7.1
繊維品輸入		
綿花	875	-16.9
糸類	1,400	-9.0
織物類	7,045	4.7

2012年の主要な繊維品生産をみると、織物類は、綿製が前年比7.3%増、化合繊維製が8.6%減となった。衣類生産は前年比5.9%増の19.1億点となった。

ベトナムの主要繊維品生産

(%)

品目	単位	2012年	前年比
綿織物類	100万㎡	266	7.3
化合繊維物類	100万㎡	954	-8.6
衣類	100万点	1,907	5.9

以上